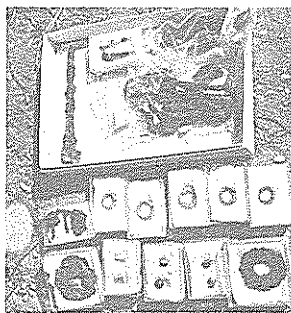


領石八反田遺跡

横穴式石室を発見

金環や勾玉など出土

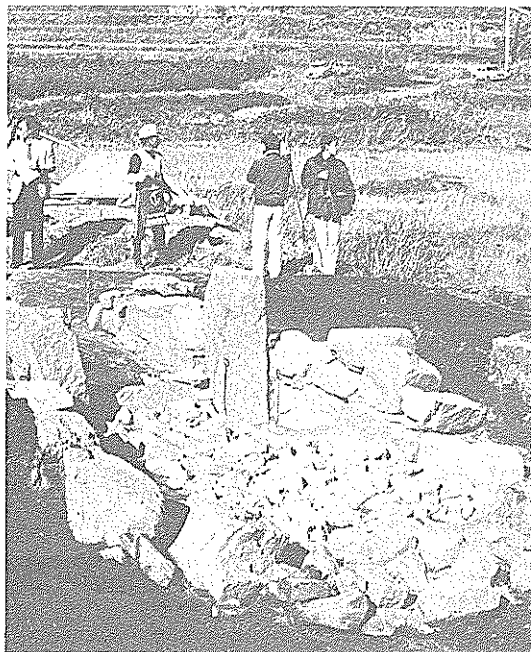
四国横断自動車道の建設に伴う事前発掘調査が進められていた、領石八反田遺跡の現地



説明会が十一月二十八日行われた。現場は国道三三号後免分かれから北へ約三百メートル入ったところ。昭和五十一年に遺跡の分布調査をした際、この地から土器片や瓦器片などを採取。そして今回、この場所が領石インターチェンジの部分になるため、県教委が記録保

①金環、勾玉などの出土品

②発見された、古墳時代の横穴式石室



存の調査をすることになったもので、面積で三百平方メートルを発掘しました。

その結果、6世紀末〜7世紀中葉の古墳時代後期の古墳を発見。横造は、横穴式石室を持つ円墳で、棺を納める玄室（幅一メートル、長さ四メートル）、玄門（幅一メートル、長さ四メートル）、長さ二メートルから成り、また

高知県では初めて墓道も確認されました。

出土遺物は、玄室から、当時のアクセサリである金環、管玉、勾玉などの他、馬具、刀の鏢、鉄製工具なども出土し、葬むられている人は武官ではなかったかと思像されています。墓道からは、高杯や壺などの須恵器が完成品のま

保育まつりに親子連れ

竹細工、折り紙など楽しむ

園児と保護者、保育さんたちの楽しい集い——第十回南国市保育まつりが十一月二十七日、岡豊保育所（久米佐知子園長）で開かれました。主催は市保育所保護者会連合会（門田美津夫会長）。

会場には市内の各保育所・幼稚園から趣向を凝らした模擬店や、竹細工、折り紙、わら草履作りのコーナーなどが設けられ、中でもわら草履・竹ぼうき作りなど、昔なつかしいコーナーに人気が集まっていた。指導は、地元岡豊地区の老人クラブの協力や、竹ぼうき作りには田中隆吉さん（園分）のお世話になり、お年寄り子どもたちが触れ合いながら工作を楽しみました。

また、岡豊山では、地図を頼りに十箇所指定地点を回るオリエンテーリングが行われ家族連れでにぎわいました。それぞれのチェックポイントでシールをはっともらうことになっており、十個に足りず慌てる親子もあり、一日中夢中になって楽しい時を過ごしていました。



竹細工を楽しむ親子連れ